

出会い ふれあい 助け合い

あべの

NO.90

筋ジストロフィーを語る

ある筋ジストロフィー患者の生きざまを通して

サロン・あべの十一月の出会い

前日の天気予報がみごとには

ずれ、窓を開けたくなるほど暖かな晴天となった平成五年十一月二〇日(土)午後一時〜四時

△サロン・あべのV十一月の出会いを育徳コミュニティセンターで、中谷敏昭氏をパネラーに迎えて「筋ジストロフィーを語る」の話を伺った。

中谷氏は温厚な童顔で、ちょっと早口ながら歯切れのよい言葉で、自己紹介から筋ジストロフィー症、現在の活動等について語られた。

○自己紹介

一九五八年二月十五日生れの

AB型、花?の独身。

現在、自立生活に入ってから十年。

昼間は、作業所でパンやクッキーの販売を担当している。

夜は学生・教師・勤労者(約三〇名)の泊り介護支援を受けている。

○進行性筋ジストロフィー症

筋ジストロフィーは、筋肉(細胞)そのものの病気で、筋肉が分解(死亡した筋肉部分が脂肪に変るの

で太って見える)していく度合と、筋肉の再生が追いつかない(再生不完全)もので、成長と共に体が段々動かなくなっていく進行性の病。いま患者は一

二万人と言われており、そのうち約二千人が療養所で生活している。男女比は、三対一。筋ジストロフィーには、三つのタイプがある。

- ・デュシェンヌ型Ⅱ性染色体劣性遺伝、研究が比較的進んでいる。
- ・肢帯型Ⅱ常染色体劣性遺伝
- ・顔面肩甲上腕型Ⅱ常染色体優性遺伝

筋ジストロフィーの研究は日本をはじめアメリカ・イギリス・カナダ・ドイツ等で盛んに行われているが、根本的な治療法はまだ確定されていない。

筋ジストロフィーの進行段階

1. 動揺性歩行(転びやすい)
2. 階段では手摺が要る。

3. 座居から立ち上れない。
4. 椅子から立ち上れない。

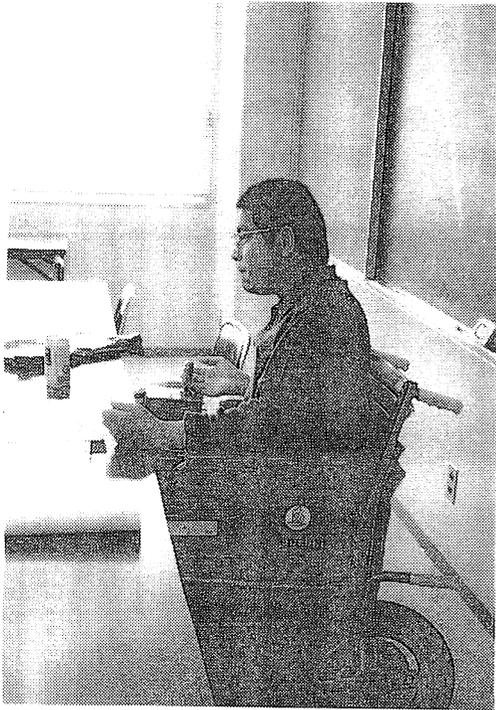
歩行距離が落ち、怪我が多くなる。

5. 車椅子の使用が始まる。
室内移動も四つん這い。

初めは前方進行だったのが
だんだん後方(後ずさり)
進行になっていく。

6. 室内移動がいざり進行にな
る。(腕の筋力が衰える)

7. 座っているだけになる。
8. 寝たきりになる。
(病気の併発が起きる)



中谷 敏昭氏

○私の筋ジストロフィー症

肢帯型が発病したのが、二五
〜三〇年程前。当時はよく転ぶ
子供、不注意だから転ぶと思わ
れていた。医療機関で病名は知
られていても、判定になると大
病院へでも行かないかぎり解ら
なかった。たとえ、解ったとし
ても原因が解らない(現在でも
不明)ので根本的な治療法がな
かった。これは現在でも同じ。
小学校低学年では自力歩行が
出来ていたが、高学年になると

登校路(八〇m位)がつらく
なり、近くまで自転車や登校。

中学・高校になると歩行困難に
なり、松葉杖を使用するように
なった。家と学校の往復だけに
なってしまう行動範囲が狭まっ
た。そして、よく倒れたりして
怪我が多くなった。それで、車
椅子を使用するようになった。
行動が楽になったが、級友の手
助けを受けるようになり、その
分共に行動することが出来なく
なった。この十七〜八歳の頃が
一番苦しかった。深く悩んだり、
心の葛藤も大きかった。

大学の寮生活に入って、車椅
子生活を本格的に始めた。この
頃から、行動範囲も広がり、病
気や障害に対しても何かふっき
れた思いがしてきた。

毎日が病気との闘いであり、
食事(高蛋白質・低カロリーの
摂取)と適度の運動(疲れが残
らない程度)を心がけている。
現在の進行度は、5〜6度の

ところで、寝返りや入浴介護等
を受けている。

病気の進行状態を充分把握し
ているので、出来る間は出来る
だけの事はやった、という思い
がある。周りの人達が考える程
障害の重度化に対して敗北感ほ
ない。しかし、経験の無い生活
が始まるのだから不安感を持っ
ている。進行状態と共に生活の
しかたが変わってくるが、それは
それで新鮮な自分発見が出来る
と思っている。七年前から電動
車椅子の使用になった(介護者
のいる旅行のときは手押し車椅
子)が、これにより一層行動範
囲が広がった。

○現在と未来

現在、週四日をごさり作業所
でクッキーやパンの販売と事務
を担当している。土・日は自分
自身の活動日として、幅広く多
くの人達との交流を図っている。

筋ジスイコール何も出来ない 切にして、今後の方向を見つめ ついて鋭い質問が出たが、快く
という感じで見られやすいが、 ていきたいと考えている。 ユーモアを交えた答えをいただ
CAN (出来る) ではなくWI 中谷氏の話を伺った後、結婚 き、和やかな集いとなった。
L (自分はくをしたい) を大 感や挫折感、障害者の仕事等に 参加者 二五名

内からのノーマライゼーション

上平 幸雄

ぼくは、興味がわいたセミナーには、なるべく出掛けて行きます。それは、障害者問題に関するものとは限りません。都市の住環境や、子供の保育、高齢化の問題など、あらゆるテーマが含まれています。ところが、障害者問題以外のセミナーで、ほかの障害者に会うことは、めったにないのです。

状況であることは分かります。でも、障害者自身が、「障害者」という枠に、とらわれすぎているような気がするのです。

映画やコンサート、あるいはデパートや遊園地などでは、よく障害者の姿を見るようになりました。しかし、一般社会人を対象にしたような、俗にいう文化的な講座や催しに対して、障害者はあまり参加していないように思うのです。

そのためにも、障害者自身が、障害者問題にこだわらず、社会のあらゆる問題に対して関心を寄せ、また、あらゆる場面に、参加していかなくてはなりません。

障害者問題に取り組む人や、遊びを通じて社会参加する人はいるのに、なぜ、障害者問題以外の文化的なことには、障害者が少ないのでしょうか。

ノーマライゼーションの実現には、他者に対する働き掛けと共に、障害自身が、その体にしみついた、「障害者」としての考

単に外出するだけでも、まだまだ大変な

え方や行動パターンを一度捨て去り、この社会に生きる、あたりまえの人間として、スタートする必要があると思います。

〓 サロン・あべの紙の 朗読テープが出来ました 〓

山本敏子さんのご協力で、サロン・あべの紙八九号の録音テープが出来ました。バックナンバーは三九号から、八九号の分があります。五〇号は五周年記念紙になっており、九〇分と六〇分の二本のテープに収録されています。

サロン紙朗読テープをご希望の方には、ダビングをしますので、富田までお申し出下さい。(☎ 〇六六九一一〇二八)

田淵美登利さんの「おもろい姉ちゃん」

は、お休みさせていただきます。

ラビアンローズ

二月22日、大阪・難波のギャラリィ
で開かれていた石田元染織展を見せ
ていただきました。今回はバッファロ

・河合恵子

作る

つくる

創る

⑥

いでしょか、角の鋭い動物がモチー
フの大作三点と三角形の幾何学文。色
彩は抑えた赤色や緑色系。畳くらの
布いっばいに描かれた作品は迫力に満
ちています。そして作者五才の作品も
次々、展覧会を開かれるエネルギーに
驚かされます。

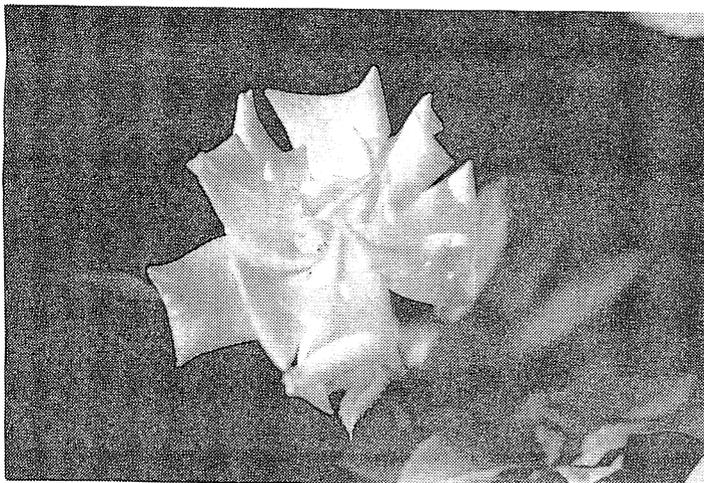
ところでクインエリザベス、プリ
ンセスミチコ、天津乙女、乙姫・・・
これはいったい何に付けられた名前か

おわかりですか。そうバラの花です。

そしてラビアンローズといえばシャン
ソンを思い出すかたもいらっしやるで
しょうが、これも新しいバラの名前で
国際的な賞を得たもの。このバラを作
り出された栽培家は京都市右京区にお
住まいの亀山寧氏。JR嵯峨駅の南に
同じ名前の喫茶店も開いていらっしや
います。お店の周囲も店内もバラ一色
ローズテイ、ローズケーキをはじめ、
メニューもバラにちなんだものが主。
バラの新種を生み出すというのは誰に
でもできるというものではありません。
バラが好きで、美しくて香りのよいバ
ラを育てるだけではないのです。病虫
害にも強くて、栽培に適した品種を年
数をかけてやっと世界のバラ市場へ。
根気だけでなく、鋭いカンが必要とさ
れるそうです。

クリスマスプレゼントにバラの花束
を贈るひともいるのでは？なんとといっ
てもバラの花言葉は恋の告白。

サロン・あべののクリスマスは例年
十二月の第一土曜日。少し、気ははや
いのですが、メリークリスマス、そし
てハッピーニューイヤー！
ラビアンローズ（バラ色の人生）に
なりますように



ラビアンローズ

実習体験から得たもの
前田 奈緒

今年の二月十五日〜三月一日の二週間、学校からの社会福祉実習に行ってきました。私が配属されたのは、京都市伏見区の軽費老人ホームでした。

軽費老人ホームには、身よりのない又は何らかの事情で家庭で生活することのできない、身の回りの仕事を自分で出来る六〇歳以上のお年寄りが入所しておられます。実習が始まってしばらくは、寮母さんについて色々教えていただきました。

軽費老人ホームの場合は寝たきりの方がおられないので、介護をする必要が無いのですが、全て個室になっているので、毎日お部屋廻りをする事が重要な仕事で、寮

母さんには、このお部屋廻りのしかたや、トイレ・おフロの掃除、入院されている方のお見舞い等を教わりました。

お部屋廻りは、初日から最終日まで毎日行ったのですが、ずっと緊張し通してました。特に初日は、何て声をかけて部屋に入っているのか、部屋に入ってもどんな話をすればいいのかわからず、大変戸惑いました。

中には、「〇〇さん、こんにちわ」と声をかけるやいなや、「わたしのところには来てくれんでよろしい。もう来んといて」と言われたお婆さんもいて、実習開始早々のすごくショックなこともありましたが、(結局、その方は人見知りなだけで、しばらく経つと慣れて喋ってくれるようになった)半分以上の方は部屋に入れてくれるだけでなく、お茶やお菓子を出してくれました。

二日、三日と経って、だんだんお部屋廻りが進んで行ったのですが、四八部屋を他の仕事もしながら廻るのは、大変なことでした。話がはずんで、一時間以上も長居してしまつと二日三日では全部屋は廻りきれません。しかし、このことがまた廻っていない利用者のひがみや嫉妬を生むので、ま

だ廻れていない人には、できるだけ食堂へ食事に来られた時や廊下のベンチに座っておられる時、クラブ活動の時等に話しかけました。一週間も経つと皆さん慣れて下さり、毎朝「おはようさん」とか、「毎日、ご苦労さんやねえ」などと、声をかけて下さるようになりました。

しかし、寮母の仕事は、ただ喋るだけではありません。話をする中で、その人のその日の気分や不平、不満、悩みをキャッチし、解決して行かなければならないのです。さすがにそれは利用者とは寮母との間に信頼関係が成立していないと完璧には不可能でした。この時に私は、信頼関係というものが、どんなに大切か、またどんなに成立するのが難しいかを痛感しました。

二週間目の夕方、別れの挨拶をする私は、涙なしではできませんでした。

大変嬉しかったのは、そんな私と一緒に寮母さんと一人のおじいさんも泣いて下さったことでした。他の利用者の方々も、とても淋しがって下さいました。

そして、私はまた遊びに来ることを皆さんに約束して、二週間の実習を終えました。半年以上経った九月、敬老の日のイベン

トのお手伝いに行かせていただきました。
寮母さんをはじめ、利用者の方も覚えて
いてくれ、また歓迎して下さいました。

中には、その日、私が来るのを待って
たというおばあさんもいて、大変感激しま
した。今でも、たまにそこへ遊びに行っ
ています。

この春の二週間の実習と、夏の特別養護
老人ホームでの二週間の実習を終えて私自
身が変わったことは、どんなに高齢の方を見

てもその人に「おじいちゃん」「おばあ
ちゃん」という呼び掛けをしなくなったこと
です。

なぜだかわからないけれど、必ず「○○
さん」と名前を呼ぶようになりました。

それは、もしかしたら、お年寄りを身近
に感じるようになったからかも知れないと
思っています。

二回の実習の体験から、ずっとお年寄り
と接して行きたいと思ひ(高齢化も進むこ

とだし)、来年の四月から京都の特別養護
老人ホームに就職することになりました。
今は、希望と不安でいっぱいです。

* * *

頼まれておりました実習体験の感想の原
稿が、大へん遅くなりましたことを心から
お詫び致します。

●高齢者と在宅介護 5

井元 真澄

二、在宅痴呆性老人介護者の介護時間(4)

《研究の結果》

③老人や家族の状況と介護時間の関係

前回は高齢者の特性による要因について分
析し、介護時間に大きく影響していることが
わかりました。今回は、他の要因についてみ
ていきます。

2. 「介護者の特性」による要因

介護者の特性と介護時間には、ほとんど関
連がみられない結果となりました。主たる介

護者の「老人との関係(続柄)」の項目では、

「嫁」、「同居の娘」、「配偶者」などがあ
がっていますが、介護者がどのような立場の
人であるかということは介護時間に影響を与
えていません。また、介護者の「年齢」によ
っても、時間に有意な差はみられません。

「介護による心身の変化」については、「疲
れがひどい」と答えている場合に二四三分、
そうでない場合は一三七分と、約一〇〇分の
差があり、これについては有意差が認められ
ています。しかしながら、他には特筆すべき
結果はなく、結局介護者の特性は介護時間に

ほとんど関連してこないことを示しています。

つまり、介護者の立場よりも老人本人の状態
の方が、介護時間を規定する大きな要因とな
っているといえます。

3. 「家族の特性」による要因

家族の特性としては、「老人本人以外に世
話が必要な人の有無」、「家族構成」、「世
帯収入」、「住居の種類」の4つをあげてい
ますが、いずれも介護時間に違いはみられま
せんでした。

4. 「介護の状態」による要因

介護の状態と介護時間については、いくつ

かの興味深い結果が出ています。まず、介護時間を介護者自身がどのようにとらえているかという意識上の介護時間と、実際の調査結果に示された客観的な介護時間に関する結果を紹介します。「あなたは1日にどの程度の時間介護をしていますか」との質問に対し、「一時間から三時間未満」と答えている者の実際の介護時間は二〇五分となっており、意識上の時間内に実際の時間がおさまっています。これが、「三時間から五時間」と感じている者では、実際の時間は一七〇分で三時間に届いていません。さらに「五時間以上」と答えている者は、実際の時間は一九四分で三時間少々にしかならず、「一日中目が離せない」にいたっては四〇五分、七時間足らずという結果です。つまり、実際の介護時間よりも意識上の介護時間の方が長く、意識上の介護時間が増加するに従って、実際の介護時間との開きが大きくなる傾向にあることがわかります。本調査での介護時間は、直接的な介護を行っている時間のみが表れています。この時間が長くなるに従って、直接の介護以外のことも大きくなり、結果として意識上の介護時間が実際よりも増加していると考えられることができます。



孤独に耐える人の姿について

孤独は打ち克ちがたいものだ。知らない人は、外に出たらとか、新しい友達をつくったらとか、気楽なことを言うものだが、いざ、ほんとうに孤独になつてしまえば、なかなかその殻から出ることはできない。

孤独の殻というひとつの膜があつてその中にいると呼吸ができないほどであり、よけいに苦しまないためには、

じつと膝をかかえて心を麻痺させたように冷たい顔をしていなければならぬ。

膜から首だけでも出すことができれば、酸素を胸いっぱい吸いこむことができ、残りの身体にも力がわいて、膜を破り抜け出すことができる。しかし、その最初の一步がむずかしい。針を突けば、ぱんつと弾けるように膜が消えてなくなればいいのだが、そして知らない人はみんな、そんなふうには風船がわれるように孤独の膜はきつかけさえあれば簡単に割れてなくなると思いがちなのだが、実際はそんなものではない。粘着性に富んだその膜は、破れそうでも破れない。手足を思いつきり伸ばして破ろうとしても、ゴムのようには伸び縮みしていつこうに破れない。そしてついには疲れてしまい、また元のように膝をかかえたまま心を殺し、なるべく痛みを感じないようにからだ全体を冷やしていく。

その冷えきつた顔を見て、冷淡な人だと思つてはならない。それはもはやぎりぎりのところで耐えている人の顔かもしれないのだ。いまにもあふれ出る涙をこらえる目は、怒っているようにさえ見えるだろう。

孤独からの回復には時間がかかる。あなたが友達になつて、その人の孤独を救おうなんて、それは無理な話だ。たつた一人の理解者がいれば、それでいいのだと多くのひとは口では言うが、現実には、それではますます孤独感は強くなる。たつた一人のその人が、多くの友人をもっていることを知るとき、自分はその人にとつて多くのなかの一人にすぎないことを知り、その落差に、孤立したみじめな自分の姿がいつそう強く心に浮かびあがつてくる。

では、どうすればいいのだろう。あなたが孤独であるとき、それは冬を耐える動物のようにじつと耐えるしかない。一日や一年で、その孤独の膜は破ることはできない。もちろん自分ではないが、結局のところやがて多くの人の手で、膜が少しずつ薄くなつてい

くことを待つしかない。あなた自身、長い孤独の日々のために心が冷え切つてしまつているのだから、急に温かいところに出ようとすると、きつと戸惑い、恐れさえ感じるにちがいない。

しかし、覚えていてよいのは、孤独は望ましいものではないが、それに耐えている人の姿はけつしてみじめなものではなく、その態度によつては美しくさえあるということだ。病氣自身は望ましいものではないが、病氣に耐えている人の姿が、けつして醜いものではないことと同じである。孤独はあなた自身の無力の結果ではない。ほんのささいな偶然か、環境の変化か、あるいはあなた自身のすぐれた資質のためでさえある。

あなたが孤独な人の友であるなら、孤独について、あなたがそのように考へていることを告げたい。なぜなら、孤独な人がたぶん最も必要としているのは、あなたからの尊敬の気持ちなのだから。孤独に美しく耐えているその姿を、人生に敗れた無力な人と見て励ましを与えることほど、その人と生き方を侮(あなど)るものはない。

(知)

お知らせ

一月の出会い

テーマ 「のんびりおいしい新年会」

日時 平成六年一月二十二日(土)

正午より

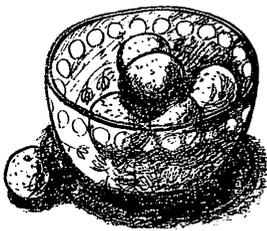
会場 天王寺駅周辺

備考

会費は、例年よりも少し高くなりますが、その分、きつと楽しんでいただけます。詳細は、お申し込みをされた方にお知らせいたします。予約の都合がございましたので、一月十日までに、お申し込みください。

お申し込み、お問い合わせは、
電話 ○六一六九一一〇二八

富田慶子 まで



大連に四ヶ月余り住んで

中村 美穂子



我在大連住了四个多月

連載第五回

留学生は、一〇〇名足らず。

日本人八〇%、後は、德国、美国（アメリカ）、カナダ、韓国、フィンランド、オーストラリア、香港系英国人、シンガポール、ロシア、等々。

金髪の彼ら、彼女たちが流暢な中国語を喋るのにはビックリ。

私も身振り手振りと、簡単な言葉でコミュニケーションを・・・。

ロシアのイルグーツクからやって来た四人（女三、男一、いずれも大学二年生）と仲良くなって、誕生会や、何やかやと喋ってよく集ってはビールや酒を飲んだりしたものです。

日本料理（といっても親子丼ぐらいです）を作ったり、ロシア料理を御馳走になったり。

中国でできた娘、由加子（中京大学三年同じ留学生）が料理も、語学も上手なので大いに助かりました。オカーチャンは口だけや（日本語が結構通じた）・・・？

授業はすべて中国語、分かったような分からないような・・・。

若い人ばかりと想っていたのですが、日本人の中には私より年配の方も結構いて、皆さん一生懸命学んでいるのには刺激されました。ただ授業が終れば日本人同志はすべて日本語でしたので・・・。

中国人の友達もたくさん増え、大連市内はくまなく散策しました。一番よく行ったのは天津街、夕方から個人商店が店を開けるころが一番活気があって面白い。国営商店では負けてくれないけれど、天津街の楽しみは値段の交渉、買う買わないは別にして、この駆け引きが面白くて、よく遊びました。中国語の勉強にもなるなんて・・・。相手の人は、下手な中国語を喋る程度の悪い奴・・・と思っていたことでしょう。

それでも最初チンパンカンパンだったのが、すこし解って来たときは、嬉しかった。国営商店の店員の愛想の悪さには腹もよく立ちましたが、慣れてくるとこんなものだと言ったのか（慣れとは恐ろしい？）いやな顔をされても別に気にならなくなりました。

由加子とよく言っていました

♪ここは中国♪

と、事あるごとにリズムをつけて・・・。
イルグーツクから大連まで火車（日本ではJR）で三日間かかります。

ヴィクトリア、スヴェッタ、アンナ、の三人娘とアンドリュウは三日間火車にゆられバイカル湖の辺の美しい町から選ばれて勉強にやってきました。私たちの町はこんなに素晴らしい所と、絵葉書や本をよく見せてくれました。

ロシア語の発音は難しくヴィクトリアは、私が発音するとビクトリアになり、「ミネコ、ビじゃないヴィだ」とよくなおされました。「オカーチャンは大坂べんのロシア語だ」と娘にも・・・大阪弁の中国語もイマイチ上達はしませんでした・・・ああここで簡単な中国語講座

没关系（メイクワンシー）関係ない、気にしない

不要（プウヤオ）いらぬ
好吃（ハオチー）おいしい

没有（メイヨー）無い
等一下（トンイーシア）ちょっと待って

左（ゾウ）ひだり 右（ヨウ）みぎ

II



はあとが、はろー！

信頼されるサロン企画

富田慶子

十月のサロンで、堺市の大仙公園内にあ
る日本庭園へ散策に行きました。

JR 阪和線の百舌鳥駅を出て公園の垣を
半周程して中の道にはいると芝生が広々と
見渡せました。ホーツと深呼吸をして空を
見あげると、目いっぱい青空が飛び込ん
できました。そして、平成元年五月に開催
されていた「ダッハランド」を思い出しま
した。これだけの広さがあったから、ここ
でオランダ文化を中心とした様々な催し物
が行われていたのだなあと。

この大仙公園がサロンの出会いに企画さ
れたのは、今回で三回目になりました。

初めて行ったのは、昭和六三年三月十九
日の出会いで、リフトバスを利用して公園
内にある博物館へ「与謝野晶子・歌と書の
ハーモニ」を観に行った時でした。

私にとって、堺市がとても遠くに感じら
れていた頃で、酔い止め薬を飲んでバスに
乗りこんだことを覚えています。

又、初めて参加下さった健常者の方の中
に障害者の姿を見て、「ボランティアは出
来ないから帰らせていただきます」と言わ
れた方や急用を思い出したからと言って、
帰られた方がおられた事がとてもショック
でした。サロンのモットーである「出会い
・ふれあい・助け合い」は、健常者と障害
者の出会いの場を求めている企画なのですか
ら、私達にとっては、障害者との出会いが
介助だけではない事を知って欲しかったの
です。が、その機会を失う事はサロンの目
的をも失う事でもありました。

サロン活動をよくご存じのボランティア
さんは、それを説明して下さい、「せっか
く来られたのだから、与謝野晶子の書を観
ましようよ」と参加を勧めて下さり、ご一
緒して下さい方もあり、少しホツとした

心地になりました。

しかし、こちらとしましては、親しくお
話をさせてもらうにも躊躇する気持が動い
て、ちょっとした戸惑いがあったことを思
い出します。

この館内には、与謝野晶子の書や歌のほ
かに堺の歴史や昔の産業が様々な形で展示
されており、なかなか興味深い見学会でし
た。又、博物館の入口横にあった日本庭園
内には、お茶室のある建物があり、その近
くに水琴窟の埋められた手洗い場がありま
した。柄杓で少し水を流しては、耳を済ま
せて水滴の落ちる澄んだ音色を聴きました。
視覚障害者の方にも喜んでいただけ、
とても嬉しく思いました。博物館内でも、
武将の合成の声色がありました。もっと
自然な音で表現された展示があっても良い
のではとも感じました。

第二回目の大仙公園行きの企画は、先に
述べました「ダッハランド」でした。

平成元年五月二〇日、確か最終日だった
かと思えます。朝からあいにくの雨空で泣
くなく中止にしたところ、その後日差し
が出てきて、悔しい思いをしました。

でも、この日を楽しみにして下さって
いた方の中に、「サロンさんが計画した所だ

から一人でも行けるのではと思ひ、行ってきましたのよ」と、後日お話を伺えたことが、とても嬉しく良い思い出となっております。サロンの企画がそれだけ障害者の方に信頼されている喜びと、その信頼に答えられる内容が必ず必要だといえますが、ありがたいことに、サロン運営委員の皆さんは行動力があるので、すぐ下見に走ってこれたり、問い合わせを入れてくれたりと迅速

ハサロン・あべのVが発足する
まえの準備段階から、委員として
参加されていた、斎藤孝文氏が平
成五年十一月五日に亡くなられま
した。ご冥福をお祈りして、あり
し日を偲んでいただきました。

斎藤さんの思い出

旭 純子

十一月六日による、突然の連絡で亡くなられたことを知りました。

サロン紙の九月号にも近況が載っていて「食がずい分細くなったけれど、気力はし

にしかも気がるに対応して下さるので、とても助かっています。

特に外へ出る時は、重度障害者が安心出来る内容でなければなりませんので、下見はおいおい重度障害者と思われる？(活動的なので、普段は特別に重度とも感じない人)車椅子使用の委員にお願いして、行ってもらっています。

今年の大仙公園行きは雨天決行で企画し

っかりと持っています」とのことだったので、暑さが和らげば、食も戻り今年のクリスマス頃には久しぶりに顔を出してくれるのだろうと思っていたので、突然の知らせに何だか淋しい思いでいっぱいです。

斎藤さんとサロンであった時は、私もまだ学生で、障害を持つ人達とのおつきあひも浅かったので、少々とまどいを感じたことを覚えています。

話しかけるとしなやかな指先で、ひらかなばかりの文字板をたどりながら、色々なことを話して下さいました。少し長い文章になると、彼の指先の動きに頭がついていなくなくて、何度も私が聞き返すので、一文一字一文字確認するようにして、イヤな顔ひ

ました。「雨で中止なんてもったいない、素敵な所なんだから」という言葉通り素敵な所でしたが、これ程はつきり言える自信は、日頃の情報の収集と的確な判断があればこそと思います。

このような委員方に支えられたサロン活動の積み重ねが、私の行動範囲の広がりとなり、地域社会への参加の一步ともなっていくような気がしています。

とつせず同じ文章をくり返し話して下さいる姿が今でも思い出されます。

ある時、例年に斎藤さんが真新しい電動車イスでひとりでやって来て、背もたれの高いシートに小柄な身体をあずけて、電動を操作している様子は、まるでちょっとした冒険者のようでした。例会が終って帰る時、「きょうは、じぶんでスロープをおりてみる」と言っていて、はじめて育徳コミュニケーションセンターの少し急なスロープの自力下降に挑んだのでした。

私は息をのんで、はらはらしながら右に左にぶつかりながらゆっくりと下ってゆく後ろ姿を見つめていました。

下まで降りきった時、斎藤さんは本当に

うれしそうな満足そうな顔をして「はじめで、じぶんで、おられた。これで、じしんがついた。」と文字板に記しました。小柄な身体が大きく、まぶしく感じられたのを覚えています。

天王寺の駅近くを、緊張した面持ちで車イスで走ってる彼を見かけたことも何度かありました。何度目かの時に思いきって声をかけたら、びっくりして止まって「つりがねまんじゅうを かいにいんどころ」との返事。「好きなんですか？」と聞くと、「はい、かぞくが すきだから」と・・・

「時たま 見かけるけど、いつもつりがねまんじゅうを買いに行くんですか？緊張して乗ってるからなかなか声かけられへんかった」と言うと、キャツキャツと笑って「このへんは、ひとがおおいから きんちょうしている」と返答がありました。

まんじゅう一つを買いに行くのに、こんなに 大変な思いをしなくてはいけないのだなあと思つたものです。

また、ある年のクリスマスパーティーに参加してくれた聴覚障害者が彼と文字板で互いに話合っているのを見て、目を開かさなかったこともありました。「手話通訳がなけ

サロンと息子川孝文

此の度、故孝文葬儀の際は、ご遠方のところ、サロンの皆様にご会葬いただき、故人もどんなにか感激したことでしょう。当地に移って参りまして「サロン・あべの」紙を送っていただき、孝文共々私も読ませていただくのが楽しみでございました。内容も充実し、とても読みごたえのある情報紙として富田様はじめ皆様のご努力に敬服申し上げます。ありがとうございました。

故人も最初の頃から「サロン」に関わらせていただき、今日の発展をどんなにか満足に思い喜んで居りました事でしょう。

志半ばにして倒れ、さぞ残念無念

斉藤 文子

だったこと、思います。

当地の夜間中学の先生方、又ボランティアとして送迎を下さった普通高校・中学の先生方にも大変可愛がっていただき、お世話をおかけしました。お通夜にも大勢の先生方が集って下さいまして、明け方近く迄思い出を語って下さいました。

短い生涯で我がまゝ、一ぱいの子供でしたが、多くの方々のお愛をいただき、きつと満足して旅立って行った事と思います。

改めまして、皆様様に厚く御礼申し上げます。

「サロン・あべの」の益々のご発展を心より、お祈り申し上げます。

れば・・・」と思ひこんでいた自分が、小

っほげに思えて、文字板をたどる彼の細い指先がろう者とのコミュニケーションの壁をすんなりと越えていることに、新鮮な感

動を覚えた事を思い出します。

お家の都合であべのを離れられてからは、お会いすることもなく、運営委員の方々から近況をお伺いするばかりでしたが、色々

な場面で彼の生き方に感動し、影響を受けたと思っています。

サロン・あべのにとっても、本当に大きな悲しみですが、どうか天国から今後のサロンを見守っていて下さいね。

ご冥福をお祈りします。

齊藤さんを偲んで

原 田 博 子

齊藤さん、といえば、いつもさつそうと電動車いすを走らせてこちらに向かってくる姿を思い出します。行動力があって、力強い印象があります。でも、決して強引でなく人を包む込むような暖かさのある人でした。文字盤を指さしながら、ほがらかに笑う姿が思い出されます。

何度かボランティアを紹介して外出をお手伝いさせてもらったこともありましたが、ボランティアからはいつも楽しく活動ができたとの報告を受けました。私自身も齊藤さんと接し、思いやりのある、本当に人づきあいの上手な人だなと感じました。

齊藤さんは、障害者が街に出ることがまだまだ一般的でなかった頃から積極的に外出し、ノーマライゼーションの理念を私達

に伝えてくれた身近な人だったと思います。今は、そんな齊藤さんの思いを忘れずに生き、広めていくことが何よりの供養になるような気がしています。

ご冥福を心よりお祈りいたします。

また会える気が

石 田 律

齊藤さんが文の里にいてはったころ、そう、五、六年も前になるか、阿倍野区役所の近くでバッタリ出会ったことがある。

その時、劇団「熊変」での芝居の稽古を終えての帰りだった齊藤さんは、初出演の芝居の話をちょっと上気して、話してはった。大スターやんか。大向う喰らす芝居するようにならはったら、サイン頼むまっせ、サイン。芝居の稽古といっしょに、サインも練習しといてな。軽口をたたいて別れた。

いつだったか定かでないが、ジャイアンツ印のついた真っさらのくつをはいた齊藤さんに西田辺の交差点で会った。西鉄時代からずうつと西武ファンの齊藤さんが、なんでえ、なんで巨人のくつはいてはんの。西武ファンとちごたん。齊藤さんは答えず、笑うだけ、ただ笑うだけ。信号が変わって、

せわしく別れた。

舞台を演じる齊藤さんのサインも貰わずじまい、巨人のくつをはいた西武ファンのなぞも解けずじまいになっているが・・・まあ、ええか。またどこぞで齊藤さんに会えるような気がする。

美智子のこんな話



岸 田 美智子

齊藤さん やすらかに

十一月五日夜の十時すぎ、齊藤孝文さんが奈良の自宅近くの病院で死去されたという計報が入りました。

今年の初め頃、お父さんが脳溢血で倒れたあと、齊藤さんも 元気をなくしていたようです。きっと、お父さんの介護と自分の介護問題をどうしていくかという現

実にぶつかり、疲れていたような気がします。

私の思い出の中の斉藤さんは、劇団「熊変」でレオタードをきて元気にころがっている姿と「ケケケ・・・」という笑い声と文字番をすばやく自分の指でさして、色んな人とコミュニケーションをとっていた元気な姿です。

斉藤さんは、「熊変」以外にも色々障害者運動に関わってこられました。私とは障害者の施設を考える「かわら版」というミニコミ紙を施設の職員などと一緒に作ったりしていました。

その時も両親が介護できなくなったら、施設に入るしかないと考えておられるようでした。ほとんどの在宅障害者の方が、生活介護（食事やトイレ、着替え）は家族にゆだねるしかなく、その中で家族しかできないと思ひこまされていきます。

よく障害者の親が「この子の介護は私しかできませんから・・・」と言われたりします。

組が、あっちこっちで一步一步広がってきています。

その力がこの親の言葉をのりこえられることができることを斉藤さんも、きつと願っておられたのだと思います。

一人でも多くのおみなさんと共に前進していきましょう！
そして、
斉藤さん やすらかに眠って下さい。



井 感謝します 井
カンパ、お茶菓子、冊子等、
ありがとうございます。

お礼を申し上げます。
十一月のカンパ 金四二、〇〇〇円
(十一月二〇日締め)

今回、斉藤さんが亡くなられて、また改めてこの言葉の重さをかみしめています。
今、地域での作業所を拠点にした生活取
宮脇 均、 匿名二名。(敬称略)

編集後記

斎藤さんから、榎原市へ越されて間もなく、夜間中学へ入学して授業以外に書道もしているという報が届いた。それでは、と、間髪を入れず、本紙の表題を依頼した。すると、折り返し書道半紙に墨痕あざやかに書かれた「サロン」が送られてきた。計報を聞いて表題の字のエピソードを思い出した。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>N0.90['93.12. 4 発行] 定価¥100.
代表；上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303. 電話06-621-4365
連絡先；富田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26. 電話06-691-1028
表題；斉藤孝文・筆
印刷；セルフ社〒545 大阪市阿倍野区西田辺町2-2-10-101. TEL.06-691-2365.

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)